

津島大好き!!たかしま歯科



初めまして
たかしま歯科です。

欧米では定着している

「歯の定期健診」「歯石取り」「着色除去」が、 日本ではなぜ定着しないのか？



口臭の原因にもなる虫歯や歯周病が日本でなかなか減少しないのは、欧米に比べ定期健診を受けている人が少ないことがあげられます。

皆様も心当たりがあると思いますが、ほとんどの日本人は「歯が痛くなつてから歯医者に通う」というスタイルをとっています。

歯周病など、自覚症状がなくても病気が進行しているケースもあり、気がついたときには手遅れ(抜歯)になる場合もあります。

そのような事が無いように、問題点を早期に発見・早期に治療するのが定期健診の主な目的です。
厚生労働省の歯科実態調査で公開されたデータによりますと、55歳の平均残存歯数は8本です(元々の歯数

は、基本28本)。想像してみてください。

8本しか歯が残っていないとなると、自分の歯だけで食事をすることは難しくありませんか？

しかし、正しい定期健診を長期間行っていけば、残っている歯の本数も大幅に増えていきます。

皆様のお口の中を継続的に管理していくことで、もし仮に、むし歯があったとしても早期発見・早期治療で済みますし、歯周病の進行も遅らせることができます。

また、お口の中の写真を定期的に撮影・データ保存していきますので、ご自分の目で経過を見ることができま



す。

このように3ヶ月ごとの定期健診によってお口の中の健康を継続して皆様と一緒に守っていくことで、「痛くなつてから受診する」人よりも、多くの歯を残すことができます。

歯周病治療で著名な歯科医師の臨床データでは、20年間定期健診を継続的行った場合、75歳で平均20歯近く残存させることが出来るというデータも実際に公表されています。

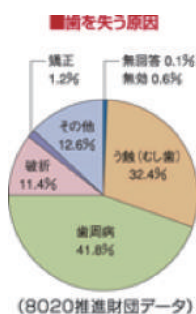
また、定期健診について詳しく書いてあることがあまりないので「どこの歯医者さんと同じだ」と思ってしまうがちではないでしょうか。

残念な事ですが、殆どの歯科医院の定期健診は「むし歯のチェック」がメインです。

歯ぐきの状態の細かいチェック、つまり歯周病の定期的な検査・管理は出来ないケースが多いのです。

その理由は、歯科衛生士が全国的に不足しているのが主な要因です。

日本歯科医師会が設立した「888」推進財団のデータによると、日本人が歯を失う一番の原因は「歯周病」。



「歯を失いたくない」という観点から言うと、「痛い」などの症状がなく、知らないうちに病気が進行している歯周病は「むし歯」以上に注意しないといけない病気なのです。

たかしま歯科の定期健診では、むし歯のチェックはもちろん、歯周病のチェック、そして歯のクリーニング(歯石取り・着色除去)も定期的に行い、皆様のお口の中を総合的に、そして継続して管理していきます。

また、検査終了後には、現在の口の中の状態を口頭だけでなく、目に見える形でお伝えするために、患者様一人ひとりにオリジナルの資料を作製してお渡ししています。

もし治療が必要な場合は今後の治療方針をお伝えさせていただきます。

たかしま歯科の定期健診で、お口の中の現状を一度確認してみたいかがですか？

その結果、今では、たかしま歯科に来院された患者様のうち、87%以上の方が継続して定期健診と歯のクリーニングを受診されています。

今までの定期健診との違いを、是非ご自身で体験してください。

お口の中の不安が一掃されると思います。

